

「防府市男女共同参画に関する市民意識調査」  
結果報告書

山口県 防府市

## 目 次

1. 調査の目的.....	1
2. 調査の方法.....	1
3. 報告書の見方.....	1
4. 調査結果.....	2
回答者自身について.....	2
男女の地位の平等感について.....	5
女性の参画について.....	7
男女の生き方について.....	10
仕事と生活の調和について.....	15
配偶者等からの暴力について.....	22
交際相手からの暴力について.....	31
男女共同参画に関する用語について.....	32
行政への要望について.....	33

## 1. 調査の目的

本調査は、令和4年度に策定する「第6次防府市男女共同参画推進計画」の基礎資料とするため、男女共同参画に関する意識調査を実施し、今後の施策に反映させることを目的としています。

## 2. 調査の方法

調査対象	防府市に住む18歳以上の市民から無作為抽出
調査数	1,500人
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	令和3年9月15日～令和3年9月30日
調査票回収数	596件
回収率	39.7%

## 3. 報告書の見方

- 調査結果は、質問の有効回答数（図ではNで表示）に対する百分率（%）で表示しています。
- 回答結果の割合（%）は回答者の総数に対して、それぞれの選択肢の回答者数の割合を小数点以下第2位で四捨五入して算出しています。そのため、単数回答形式の質問の場合、合計値が100.0%にならない場合があります。
- 2つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問の場合も、回答結果の割合（%）は回答者の総数に対して、それぞれの選択肢の回答者数の割合を示しています。そのため、割合の合計が100.0%を超えることがあります。
- 本報告書における「N」「SA」「MA」は、それぞれ
  - 「N」 = サンプル数のこと
  - 「SA」 = 単回答のこと（Single Answer の略）
  - 「MA」 = 複数回答のこと（Multiple Answer の略）を示します。

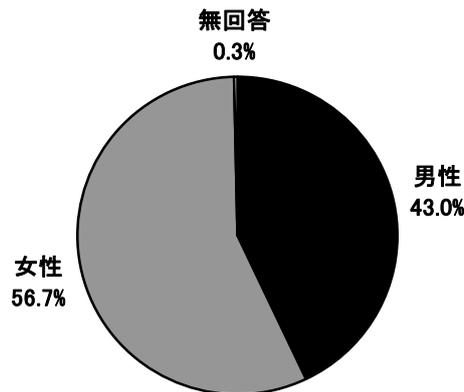
## 4. 調査結果

### 回答者自身について

#### F 1 性別は、次のどれですか。(SA)

「男性」が43.0%、「女性」が56.7%となっています。

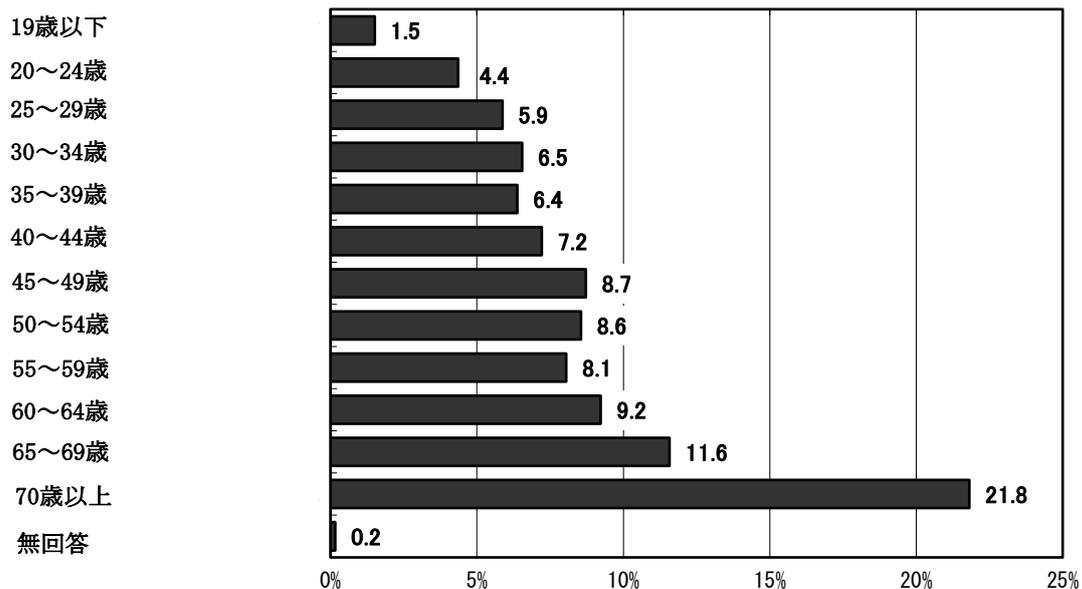
(SA) N=596



#### F 2 年齢は、どの区分ですか。(SA)

「70歳以上」が21.8%で最も高くなっています。次いで「65～69歳」が11.6%、「60～64歳」が9.2%が続いています。

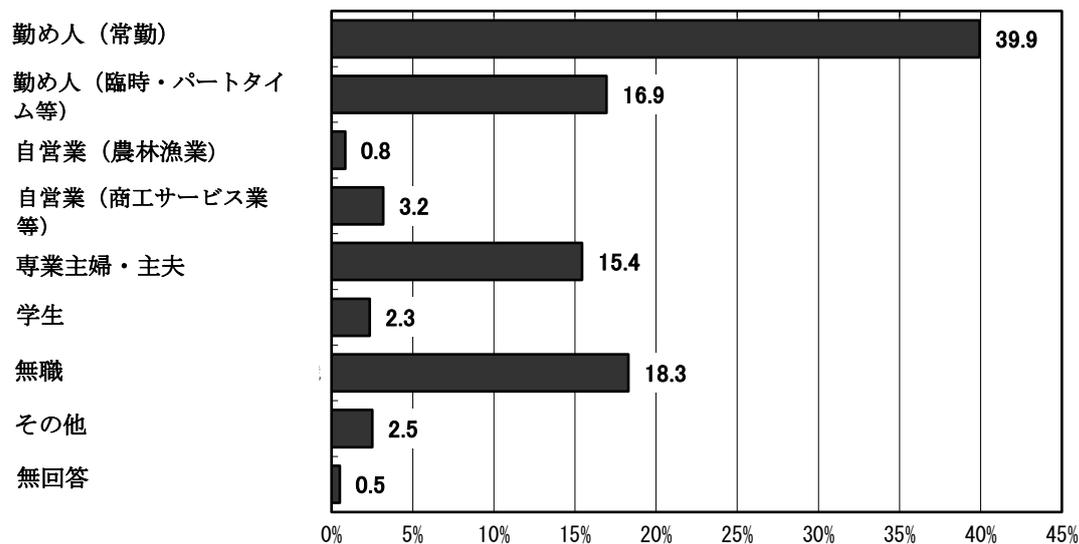
(SA) N=596



### F 3 就業形態を教えてください。(SA)

「勤め人(常勤)」が39.9%で最も高くなっています。次いで「無職」が18.3%、「勤め人(臨時・パートタイム等)」が16.9%、「専業主婦・主夫」が15.4%が続いています。

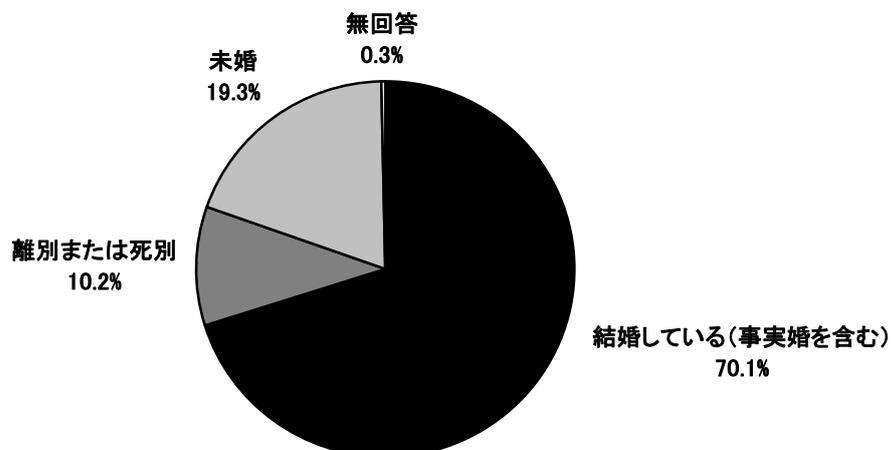
(SA) N=596



### F 4 結婚していますか。(SA)

「結婚している(事実婚を含む)」が70.1%、「離別または死別」が10.2%、「未婚」が19.3%となっています。

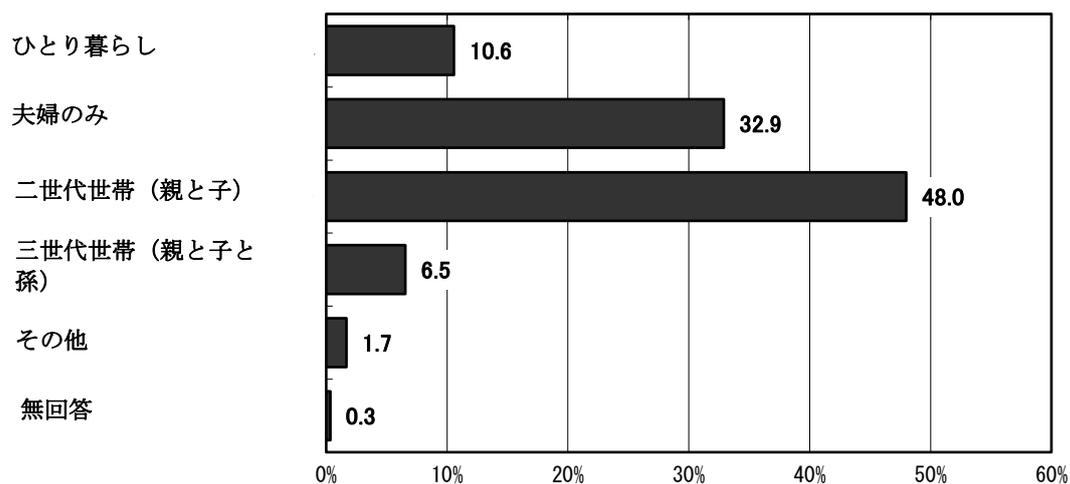
(SA) N=596



## F 5 世帯構成を教えてください。(SA)

「二世世代世帯(親と子)」が48.0%で最も高くなっています。次いで「夫婦のみ」が32.9%、「ひとり暮らし」が10.6%が続いています。

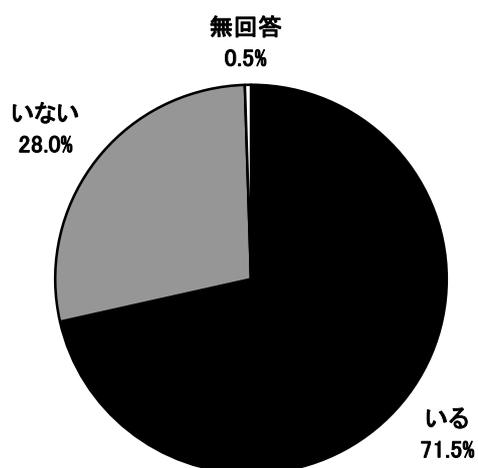
(SA) N=596



## F 6 お子さんがおられますか。(SA)

「いる」が71.5%、「いない」が28.0%となっています。

(SA) N=596



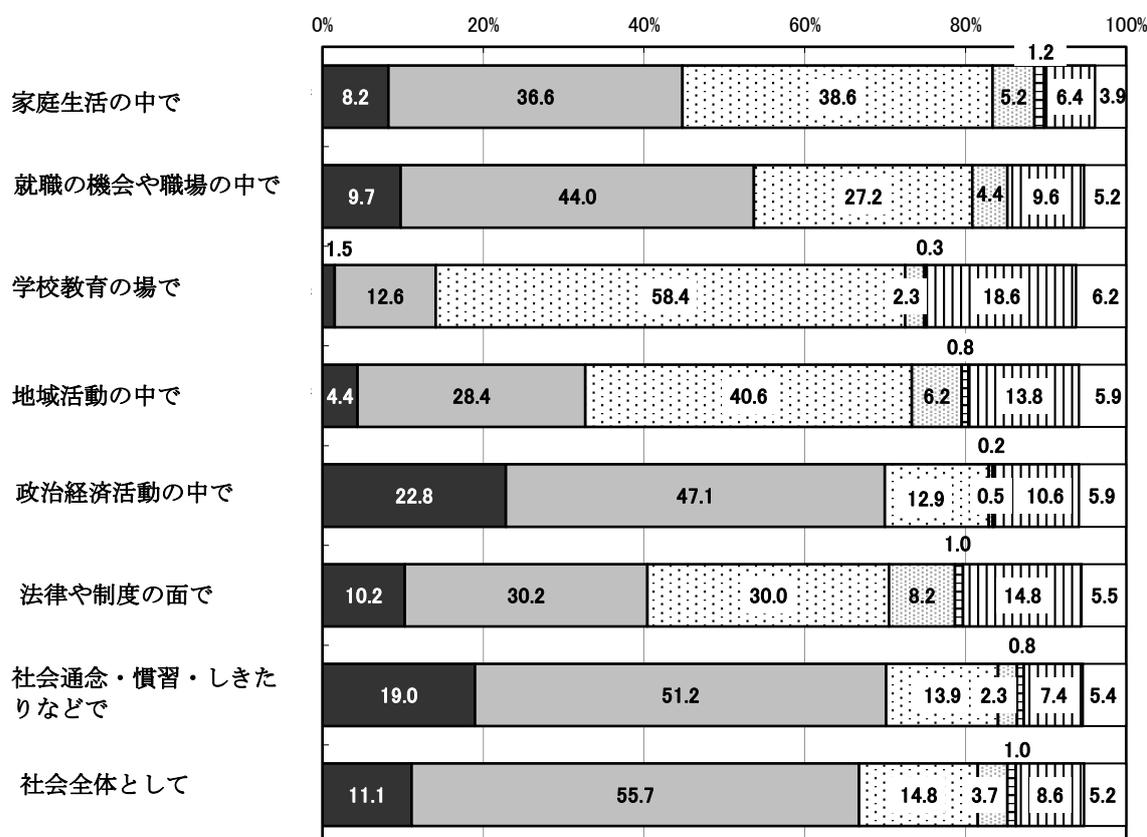
## 男女の地位の平等感について

### 問1 次の各分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(SA)

『平等である』の割合は、「学校教育の中で」が58.4%で最も高くなっています。次いで「地域活動の中で」が40.6%、「家庭生活の中で」が38.6%が続いています。

『男性の方が非常に優遇されている』と『どちらかといえば男性の方が優遇されている』をあわせた“男性優遇”の割合が高い項目は、「社会通念・慣習・しきたりなどで」が70.2%、「政治経済活動の中で」が69.9%、「社会全体として」が66.8%となっています。

(SA) N=596

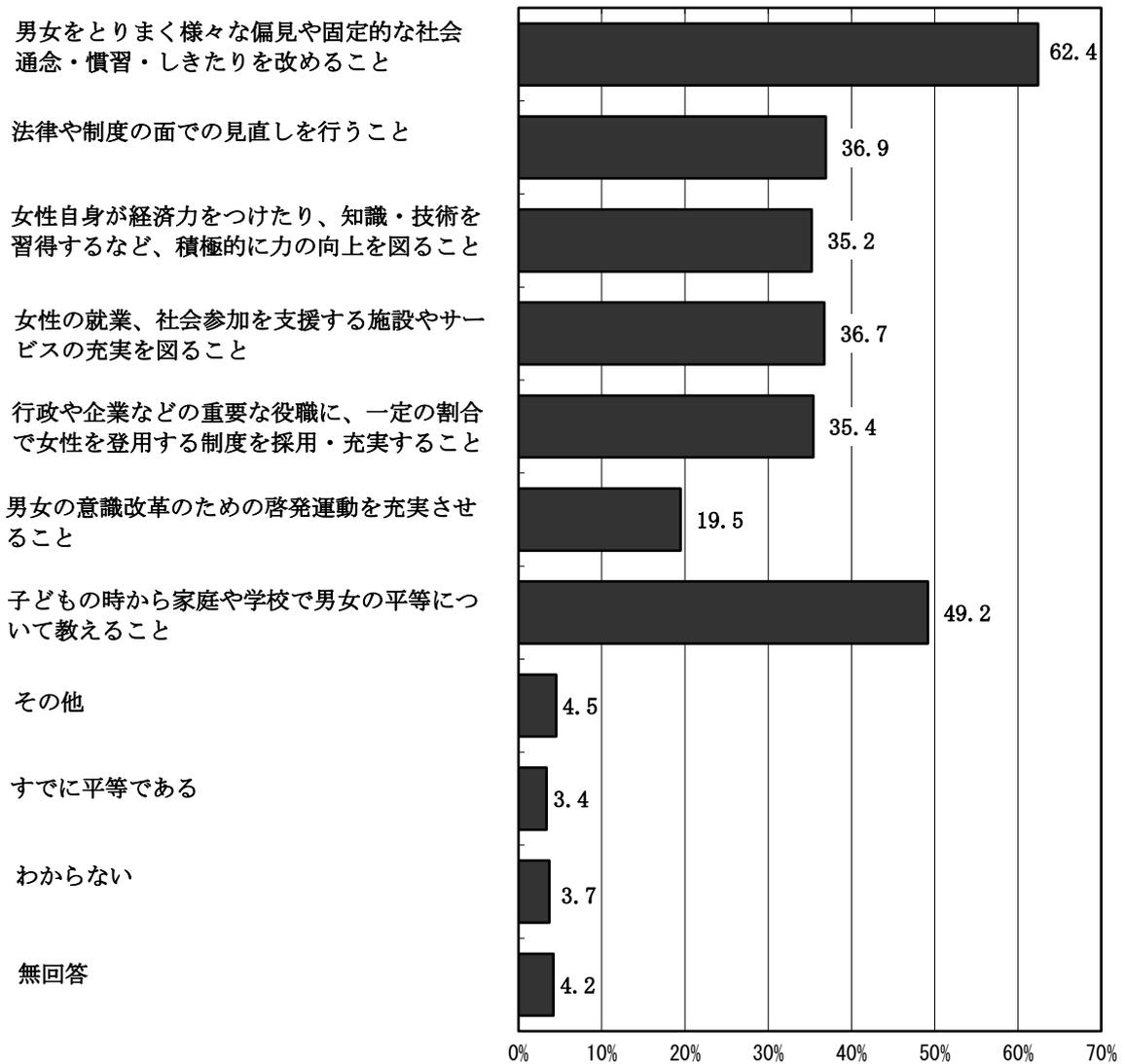


- 『男性優遇』
- 男性の方が非常に優遇されている
  - どちらかといえば男性の方が優遇されている
  - 平等である
- 『女性優遇』
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
  - 女性の方が非常に優遇されている
  - わからない
  - 無回答

● 問2 今後、社会のあらゆる分野で男女がもっと平等になるためには、何が重要だと思いますか。(MA)

「男女をとりまく様々な偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること」が62.4%で最も高くなっています。次いで「子どもの時から家庭や学校で男女の平等について教えること」が49.2%、「法律や制度の面での見直しを行うこと」が36.9%で続いています。

(MA) N=596

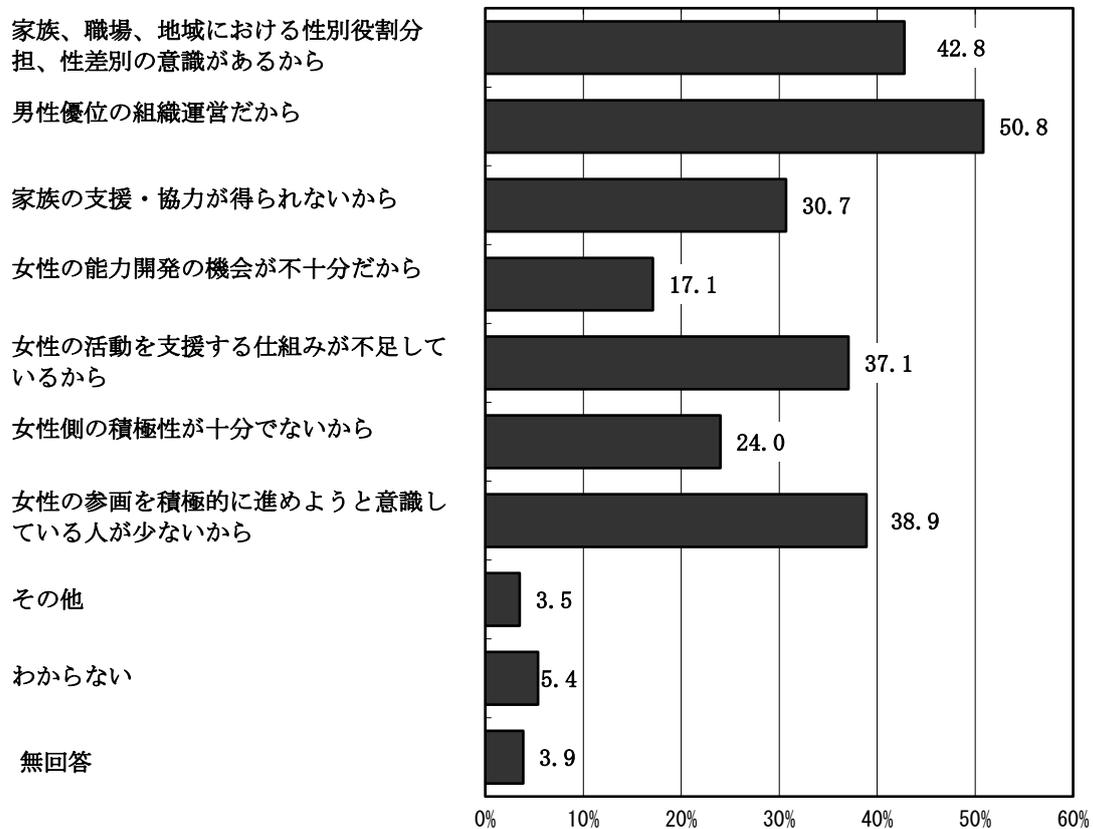


## 女性の参画について

### 問3 政治や行政において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画（例えば 議会議員・審議会等の委員・公務員の管理職等）が少ないと言われる理由は 何だと思えますか。（MA）

「男性優位の組織運営だから」が50.8%で最も高くなっています。次いで「家族、職場、地域における性別役割分担、性差別の意識があるから」が42.8%、「女性の参画を積極的に進めようとして意識している人が少ないから」が38.9%で続いています。

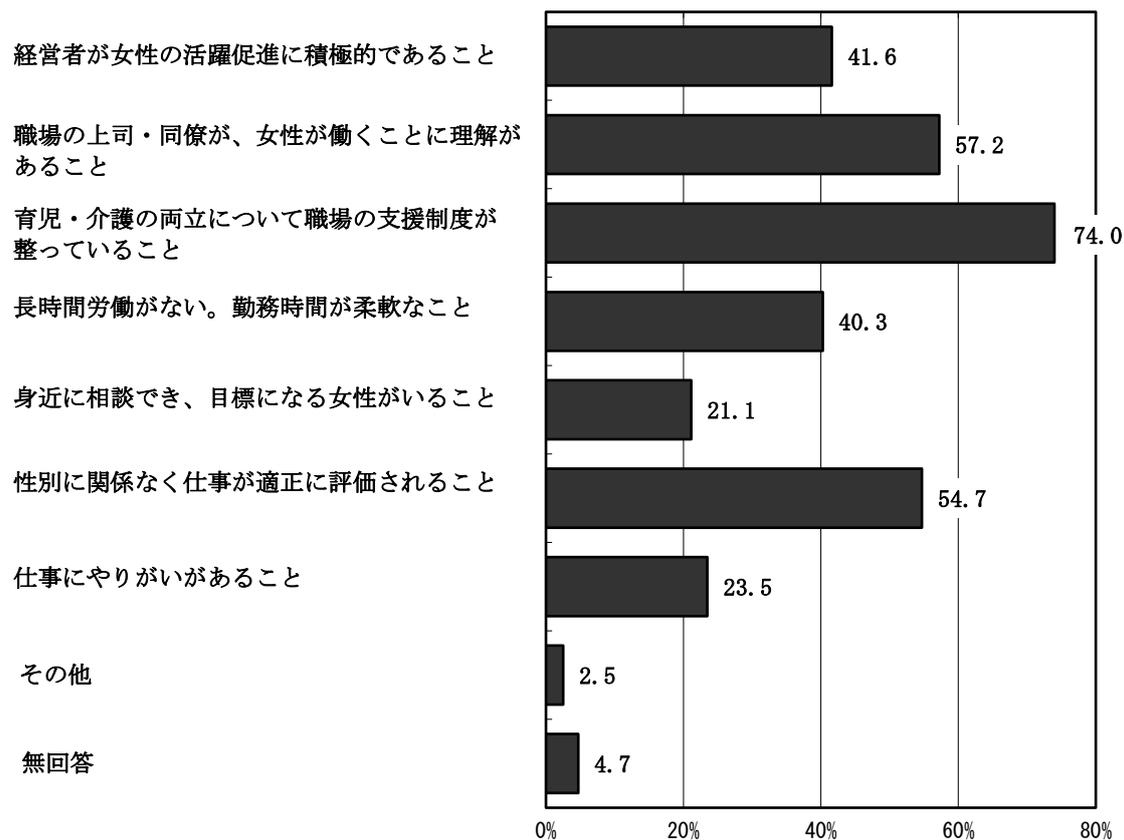
(MA) N=596



#### 問4 女性が活躍できる仕事・職場環境にするために何が重要とされますか。 (MA)

「育児・介護の両立について職場の支援制度が整っていること」が74.0%で最も高くなっています。次いで「職場の上司・同僚が、女性が働くことに理解があること」が57.2%、「性別に関係なく仕事が適正に評価されること」が54.7%で続いています。

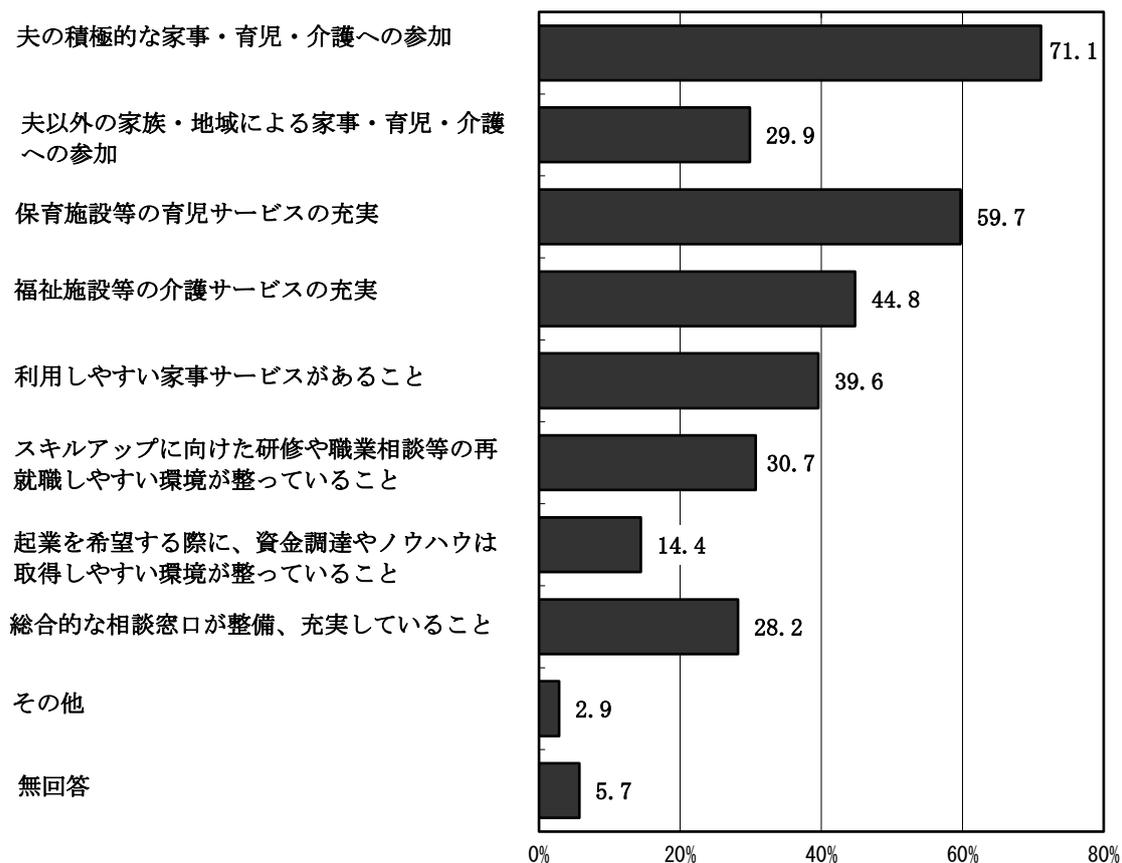
(MA) N=596



## 問5 女性の活躍が進むためには、家族や社会等でどのような環境整備が必要 とされますか。(MA)

「夫の積極的な家事・育児・介護への参加」が71.1%で最も高くなっています。次いで「保育施設等の育児サービスの充実」が59.7%、「福祉施設等の介護サービスの充実」が44.8%で続いています。

(MA) N=596



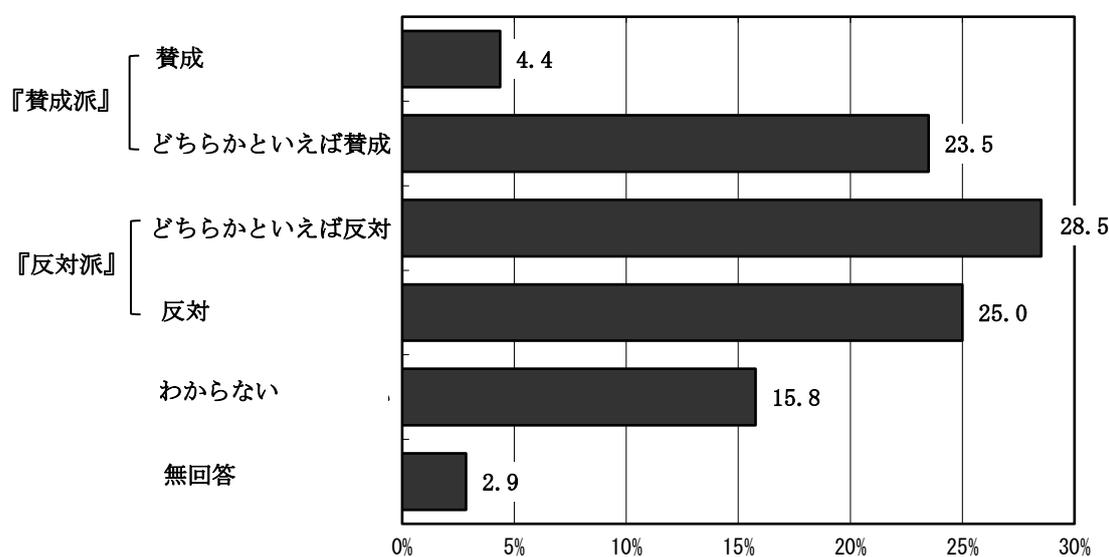
## 男女の生き方について

### 問6 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのように思いますか？ (SA)

「どちらかといえば反対」が28.5%で最も高くなっています。次いで「反対」が25.0%、「どちらかといえば賛成」が23.5%が続いています。

「賛成」と「どちらかといえば賛成」をあわせた『賛成派』は27.9%、「どちらかといえば反対」と「反対」をあわせた『反対派』は53.5%となっています。

(SA) N=596

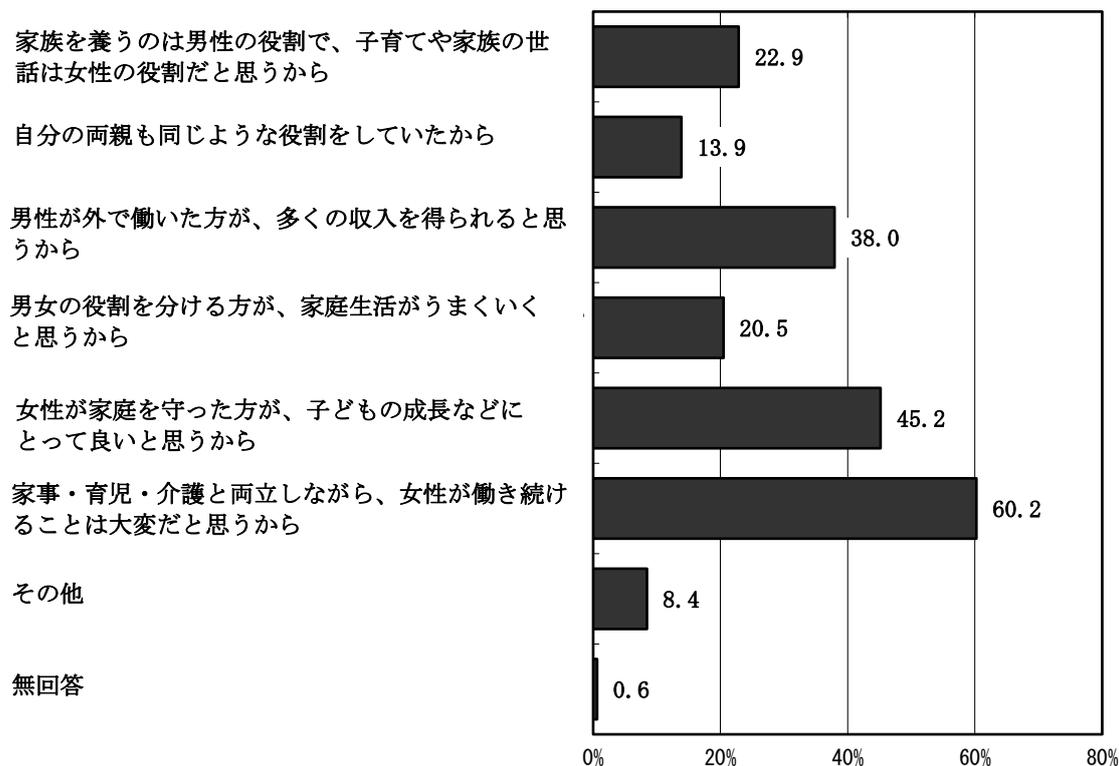


問6で「賛成」または「どちらかと言えば賛成」と回答した方を対象とした設問

### 問6-1 なぜそのように思いましたか。(MA)

「家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから」が60.2%で最も高くなっています。次いで「女性が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」が45.2%、「男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」が38.0%で続いています。

(MA) N=166

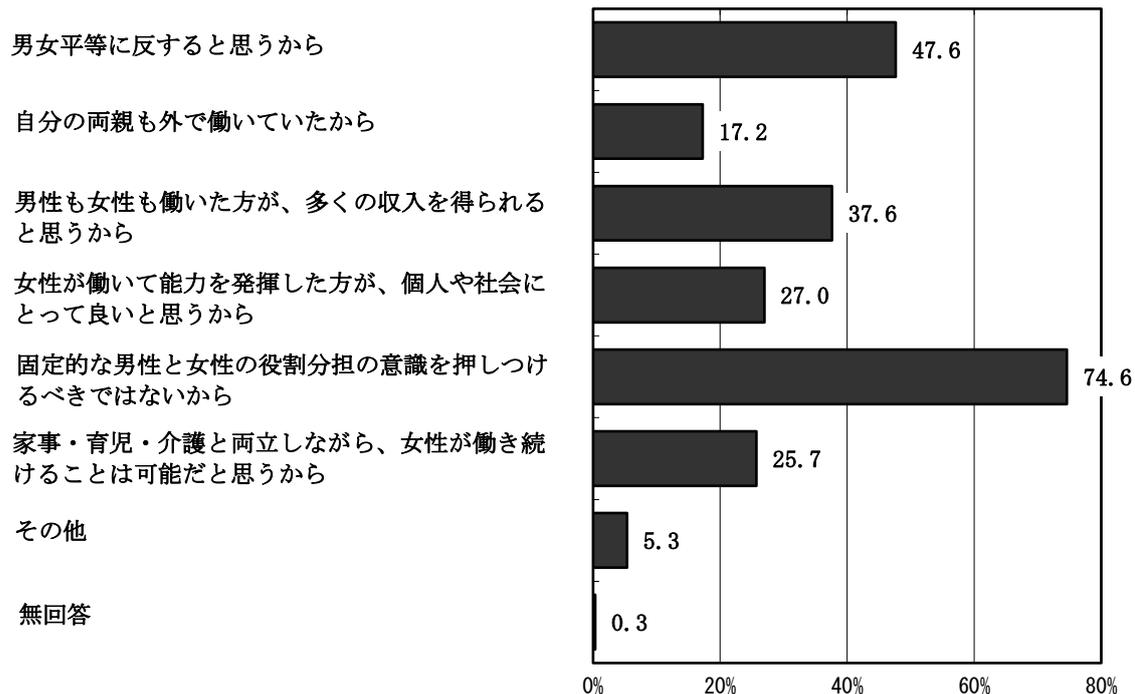


問6で「反対」または「どちらかと言えば反対」と回答した方を対象とした設問

### 問6-2 なぜそのように思いましたか。(MA)

「固定的な男性と女性の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」が74.6%で最も高くなっています。次いで「男女平等に反すると思うから」が47.6%、「男性も女性も働いた方が、多くの収入を得られると思うから」が37.6%で続いています。

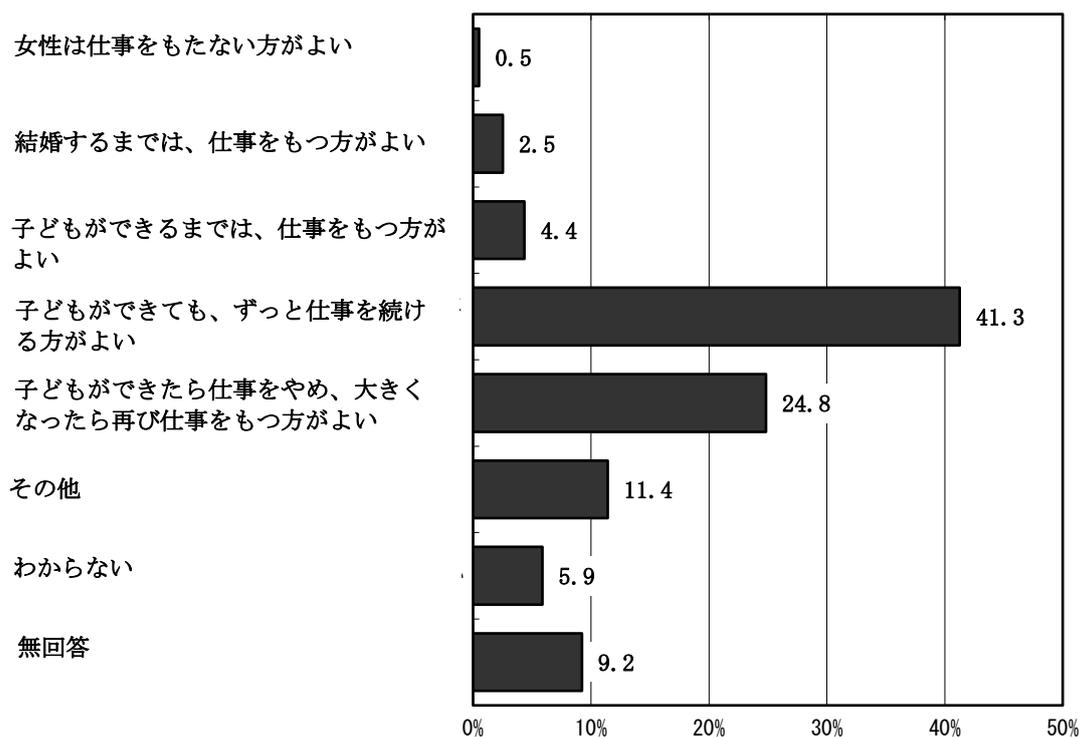
(MA) N=319



## 問7 一般的に女性が仕事をもつことについて、どう思いますか。(SA)

「子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい」が41.3%で最も高くなっています。次いで「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が24.8%で続いています。

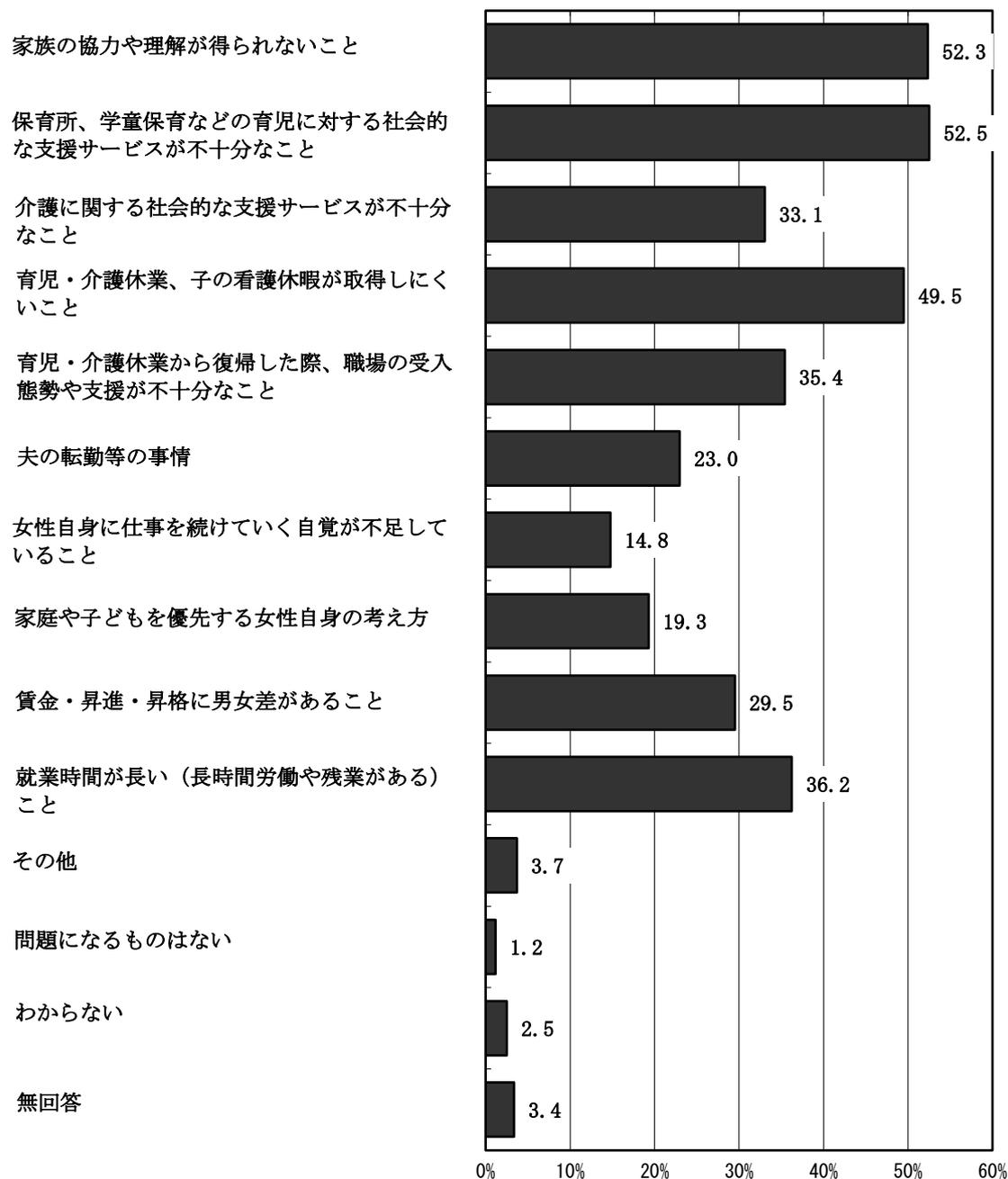
(SA) N=596



## 問8 女性が仕事を続ける上で問題となることは、どのようなことだと思いますか。(MA)

「保育所、学童保育などの育児に対する社会的な支援サービスが不十分なこと」が52.5%で最も高くなっています。次いで「家族の協力や理解が得られないこと」が52.3%、「育児・介護休業、子の看護休暇が取得しにくいこと」が49.5%で続いています。

(MA) N=596



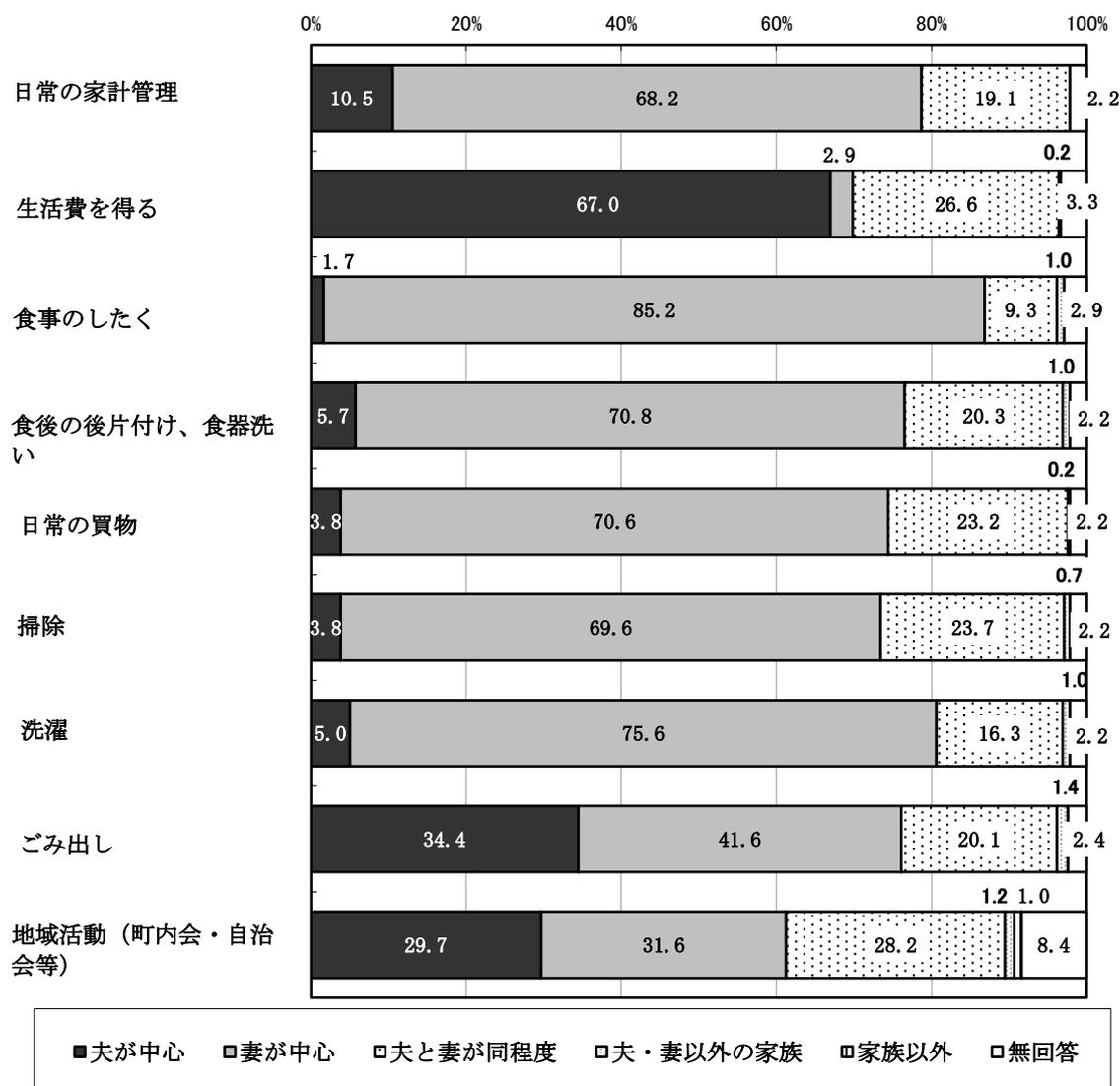
## 仕事と生活の調和について

F4で「結婚している（事実婚を含む）」と回答した方を対象とした設問

### 問9 あなたの家庭では、次の項目について実際にどのように分担していますか。（SA）

「生活費を得る」以外の項目において、『妻が中心』が『夫が中心』を大きく上回っています。その中で『夫と妻が同程度』の割合が最も高い項目は、「地域活動（町内会・自治会等）」となっています。

(SA) N=418



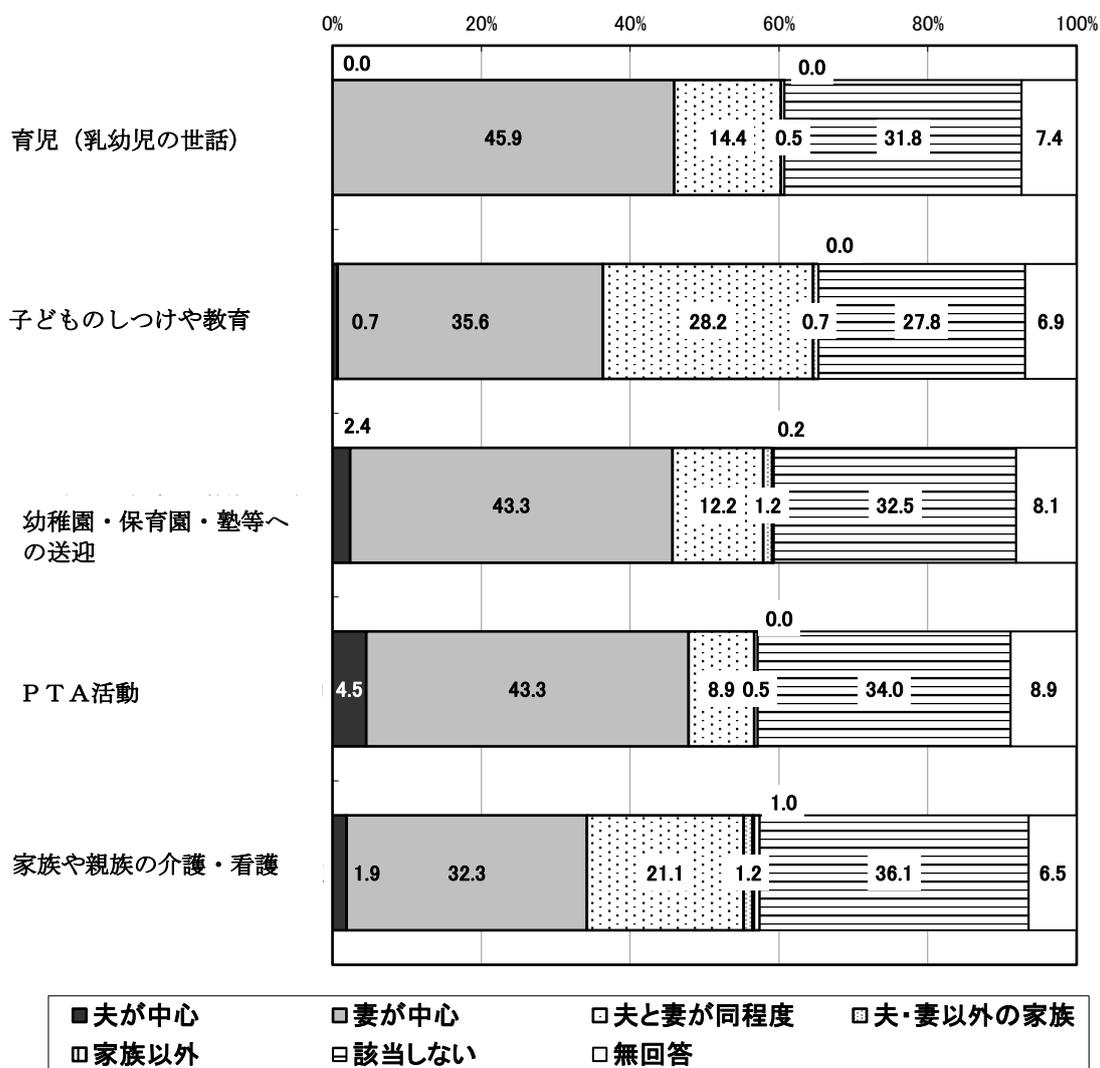
F4で「結婚している（事実婚を含む）」と回答した方を対象とした設問

**問9 あなたの家庭では、次の項目について実際にどのように分担していますか。（SA）**

育児や介護の項目において、『妻が中心』の割合が高く、「育児（乳幼児の世話）」では45.9%と約半数を占めています。

「子どものしつけや教育」では、他の項目と比べて『夫と妻が同程度』の割合が28.2%と高くなっています。

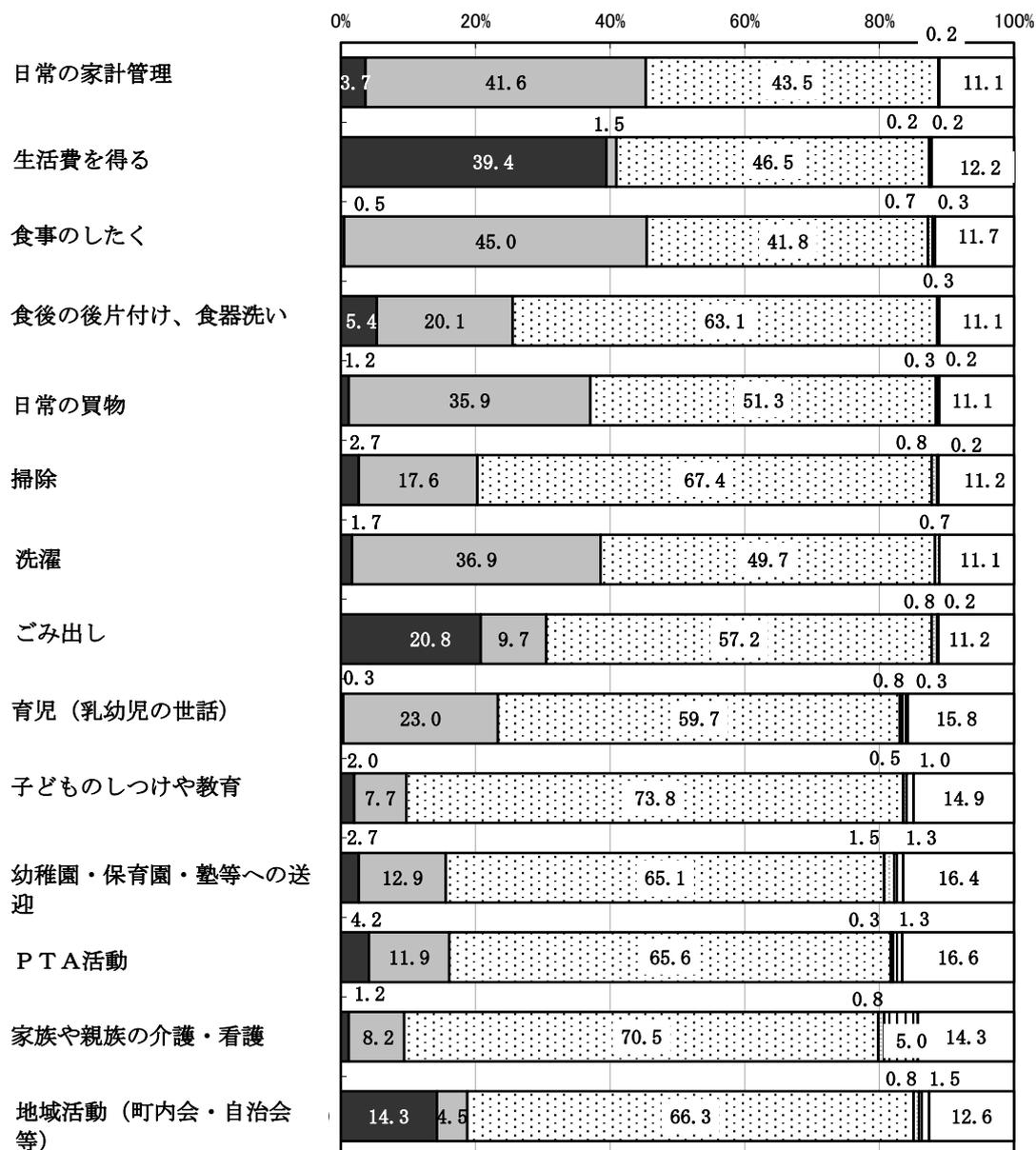
(SA) N=418



### 問10 次の項目について、どのように分担するのが理想だと思いますか。(SA)

『夫が中心』の割合が最も高い項目は、「生活費を得る」が39.4%となっています。  
『妻が中心』の割合が最も高い項目は、「食事のしたく」が45.0%となっています。次いで「日常の家計管理」が41.6%、「洗濯」が36.9%と続いています。

(SA) N=596

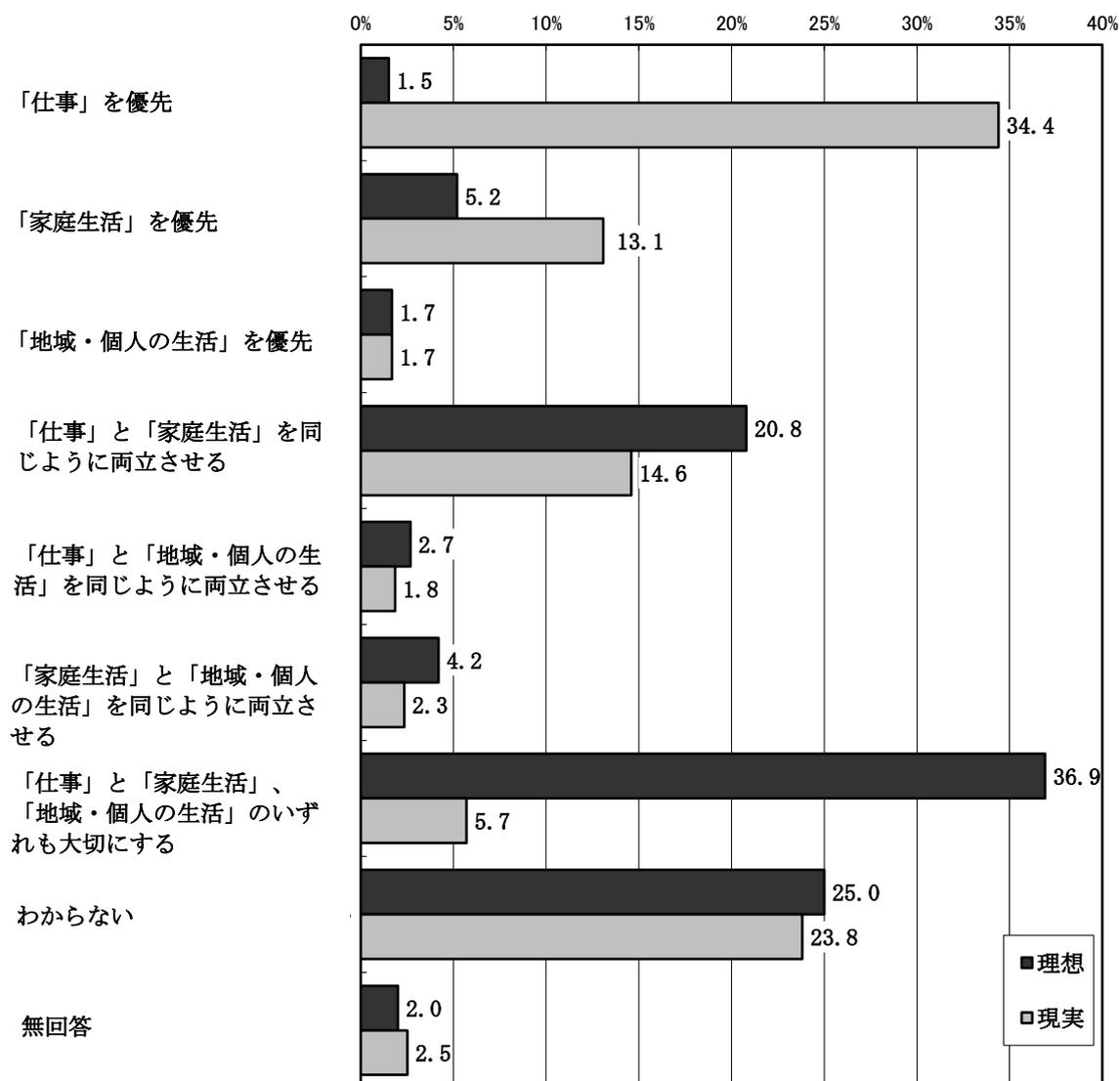


■夫が中心 □妻が中心 □夫と妻が同程度 □夫・妻以外の家族 □家族以外 □無回答

問11 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」をどのように位置づけるのが理想だと思いますか。また、現実はどうですか。（SA）

【理想】では『「仕事」と「家庭生活」「地域・個人の生活」のいずれも大切にする』の割合が高くなっていますが、【現実】では『「仕事」を優先』している状況がうかがえます。

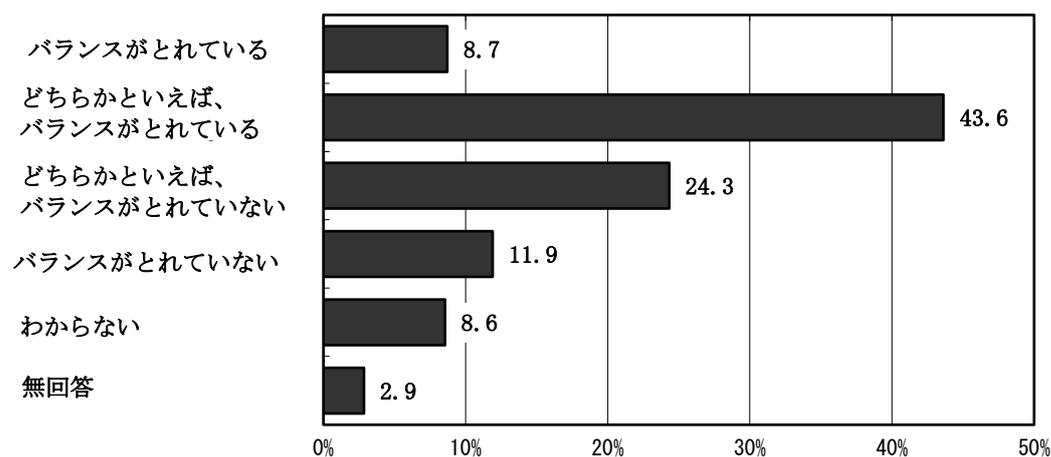
(SA) N=596



**問12 現在、仕事と家庭生活、地域・個人の生活のバランス（ワーク・ライフ・バランス）がとれていると感じていますか。（SA）**

「どちらかといえば、バランスがとれている」が43.6%で最も高くなっています。次いで「どちらかといえば、バランスがとれていない」が24.3%が続いています。

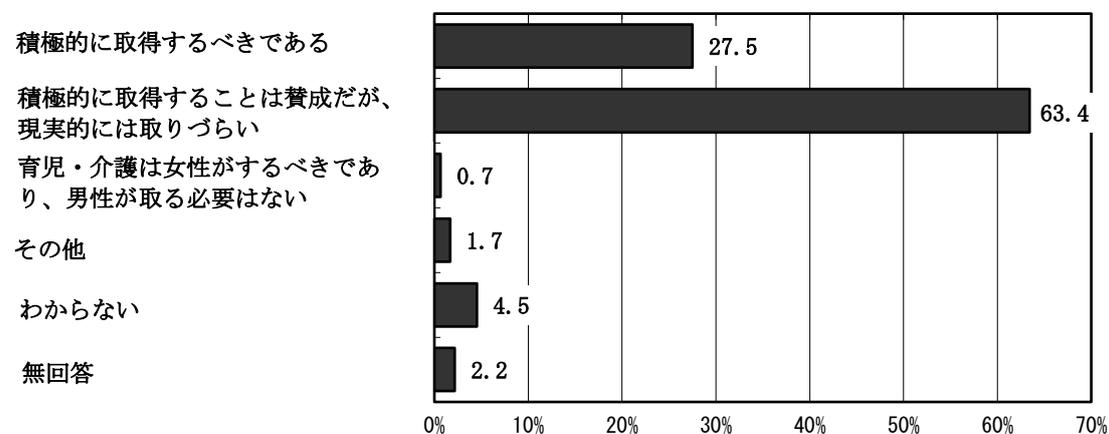
(SA) N=596



**問13 育児や家族の介護を行うために、法律に基づき育児休業・介護休業・子の看護休暇を取得できる制度があります。男性が、この制度を活用することについて、どう思いますか。（SA）**

「積極的に取得することは賛成だが、現実的には取りづらい」が63.4%で最も高くなっています。次いで「積極的に取得するべきである」が27.5%が続いています。

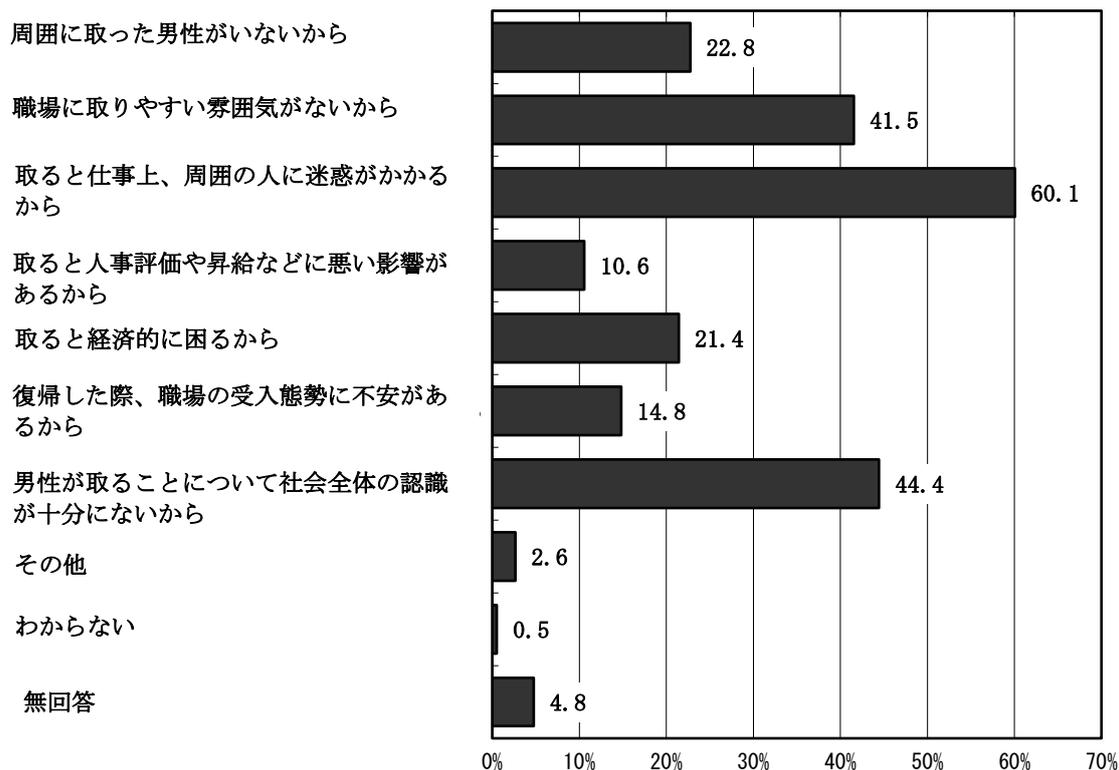
(SA) N=596



問13で「取ることは賛成だが、現実的には取りづらい」と回答した方を対象とした設問  
問13-1 その理由は何だと思えますか。(MA)

「取ると仕事上、周囲の人に迷惑がかかるから」が60.1%で最も高くなっています。次いで「男性が取ることについて社会全体の認識が十分でないから」が44.4%「職場に取りやすい雰囲気がないから」が41.5%で続いています。

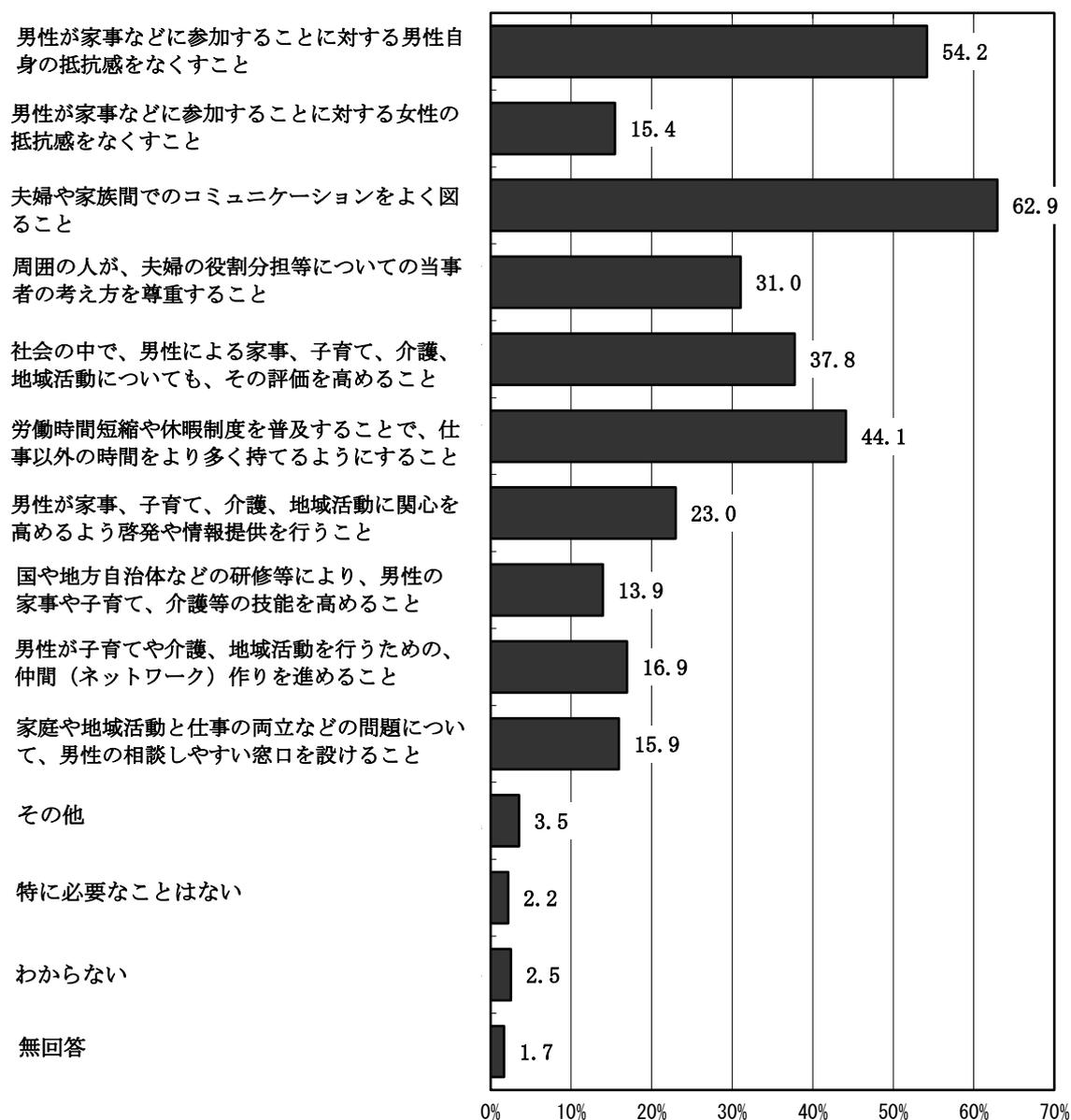
(MA) N=378



## 問14 男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(MA)

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること」が 62.9%で最も高くなっています。次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が 54.2%、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」が 44.1%で続いています。

(MA) N=596



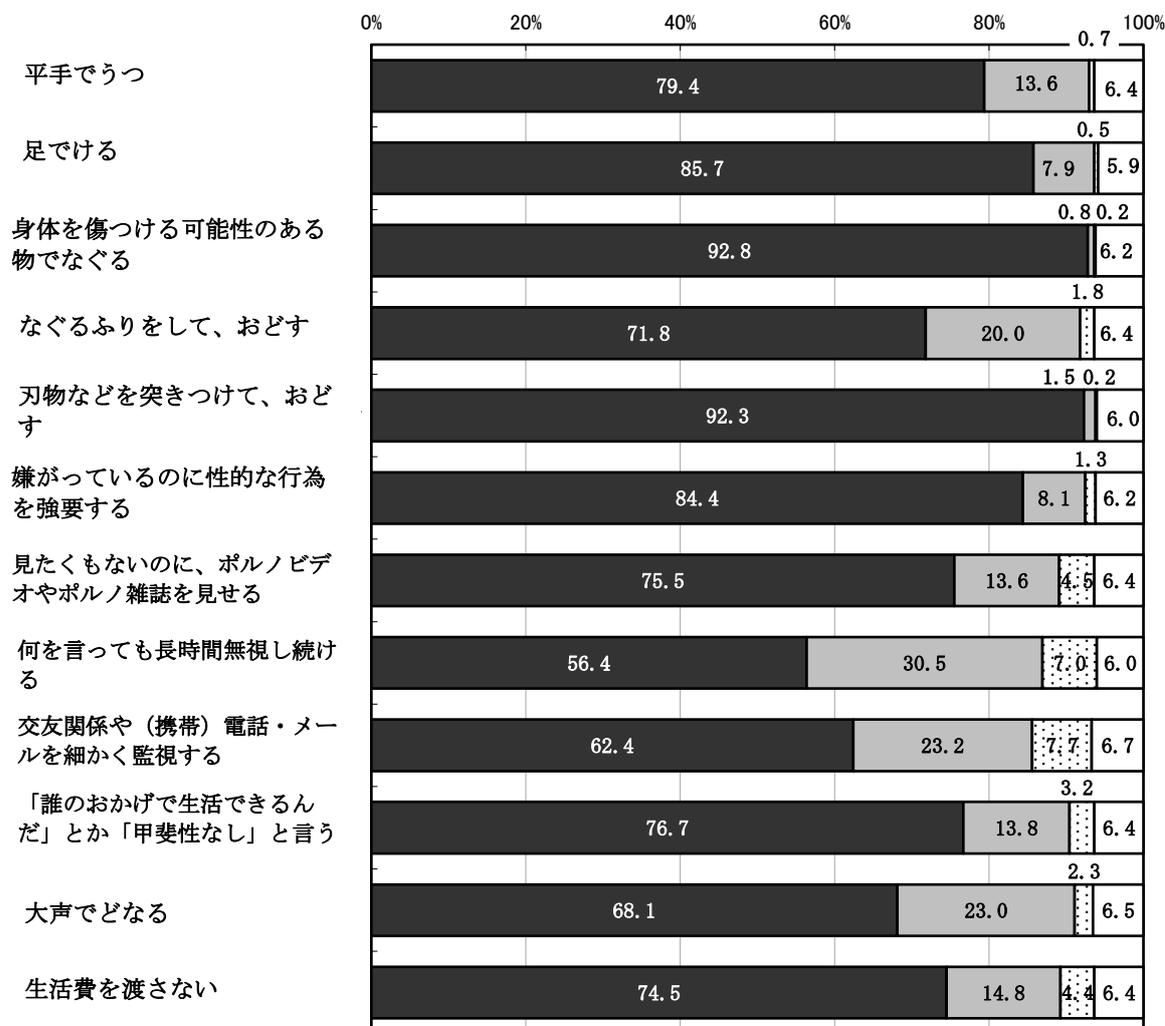
## 配偶者等からの暴力について

### 問15 次のようなことが、夫婦（事実婚を含む）の間で行われた場合、それを暴力だと思いませんか。（SA）

すべての項目において『どんな場合でも暴力にあたると思う』の割合が最も高く、特に「身体を傷つける可能性のある物でなぐる」が92.8%、「刃物などを突きつけて、おどす」が92.3%で高くなっています。

一方で『どんな場合でも暴力にあたると思う』の割合が低い項目は「何を言っても長時間無視し続ける」が56.4%、「交友関係や（携帯）電話・メールを細かく監視する」が62.4%となっています。

(SA) N=596

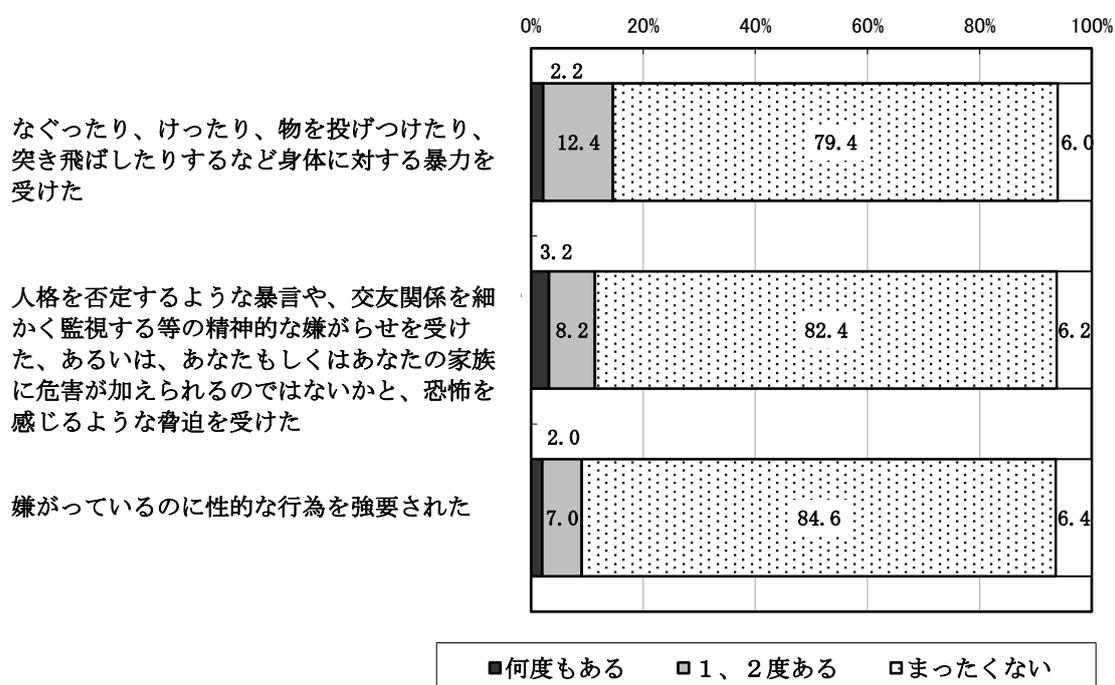


どんな場合でも暴力にあたると思う       暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う  
 暴力にあたるとは思わない       無回答

**問16 あなたは配偶者（夫、妻）や交際相手から次のようなことをされたことがありますか。（SA）**

『何度もある』、『1、2度ある』をあわせた割合は、「なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど身体に対する暴力を受けた」が14.6%、「人格を否定するような暴言や、交友関係を細かく監視する等の精神的な嫌がらせを受けた。あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと、恐怖を感じるような脅迫を受けた」が11.4%、「嫌がっているのに性的な行為を強要された」が9%となっています。

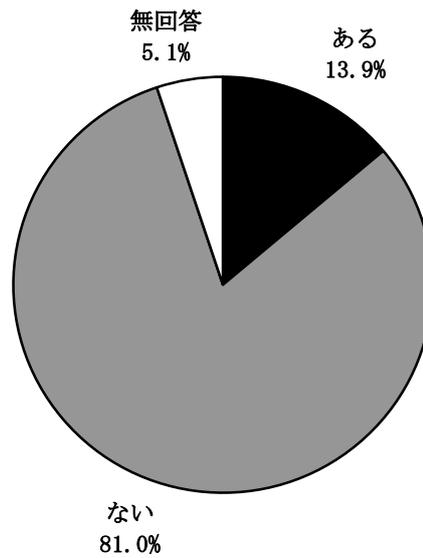
(SA) N=596



問16で「何度もある」または「1、2度ある」と回答した方を対象とした設問  
問16-1 あなたが受けたそのような行為によって、命の危険を感じたことがありますか。(SA)

「ない」が81.0%、「ある」が13.9%となっています。

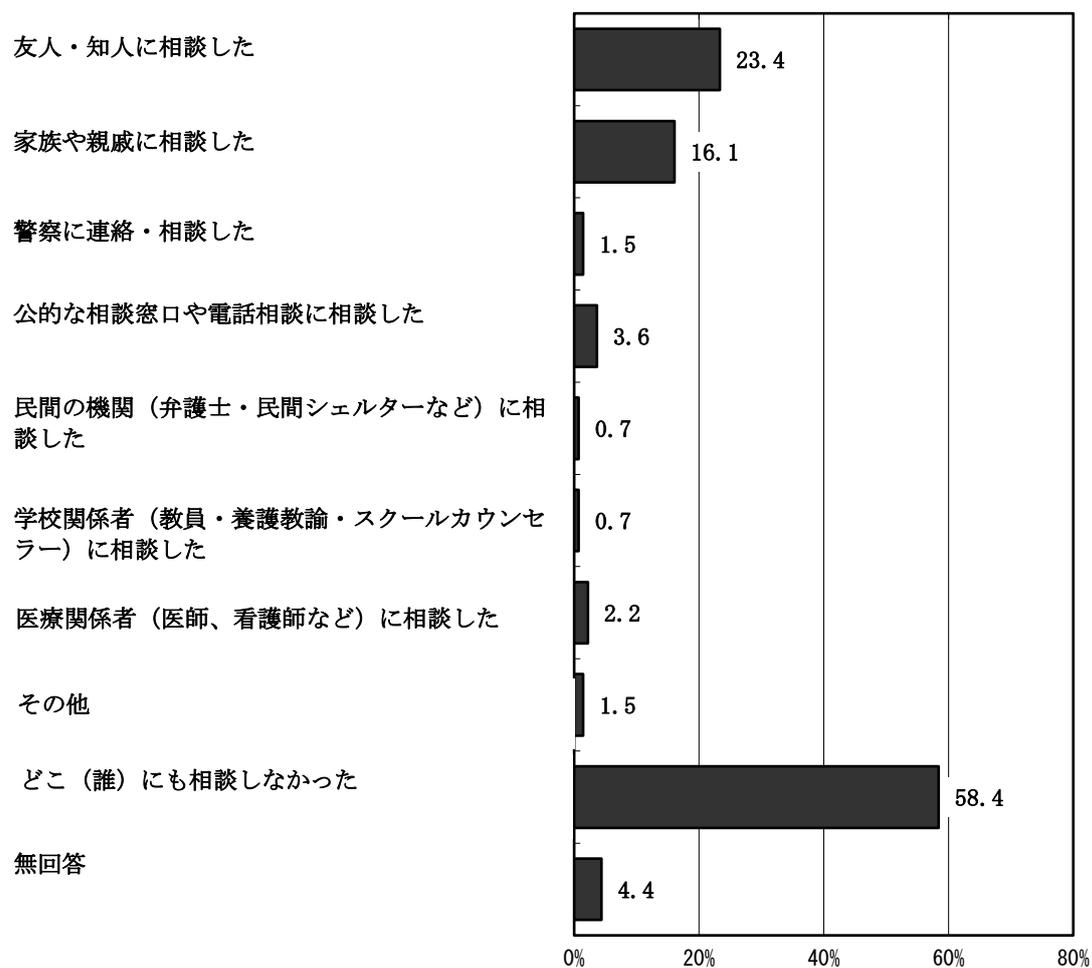
(SA) N=137



問16で「何度もある」または「1、2度ある」と回答した方を対象とした設問  
**問16-2 そのような行為を受けたことを誰かに打ち明けたり、相談したことはありますか。(MA)**

「どこ（誰）にも相談しなかった」が58.4%で最も高くなっています。次いで「友人・知人に相談した」が23.4%、「家族や親戚に相談した」が16.1%が続いています。

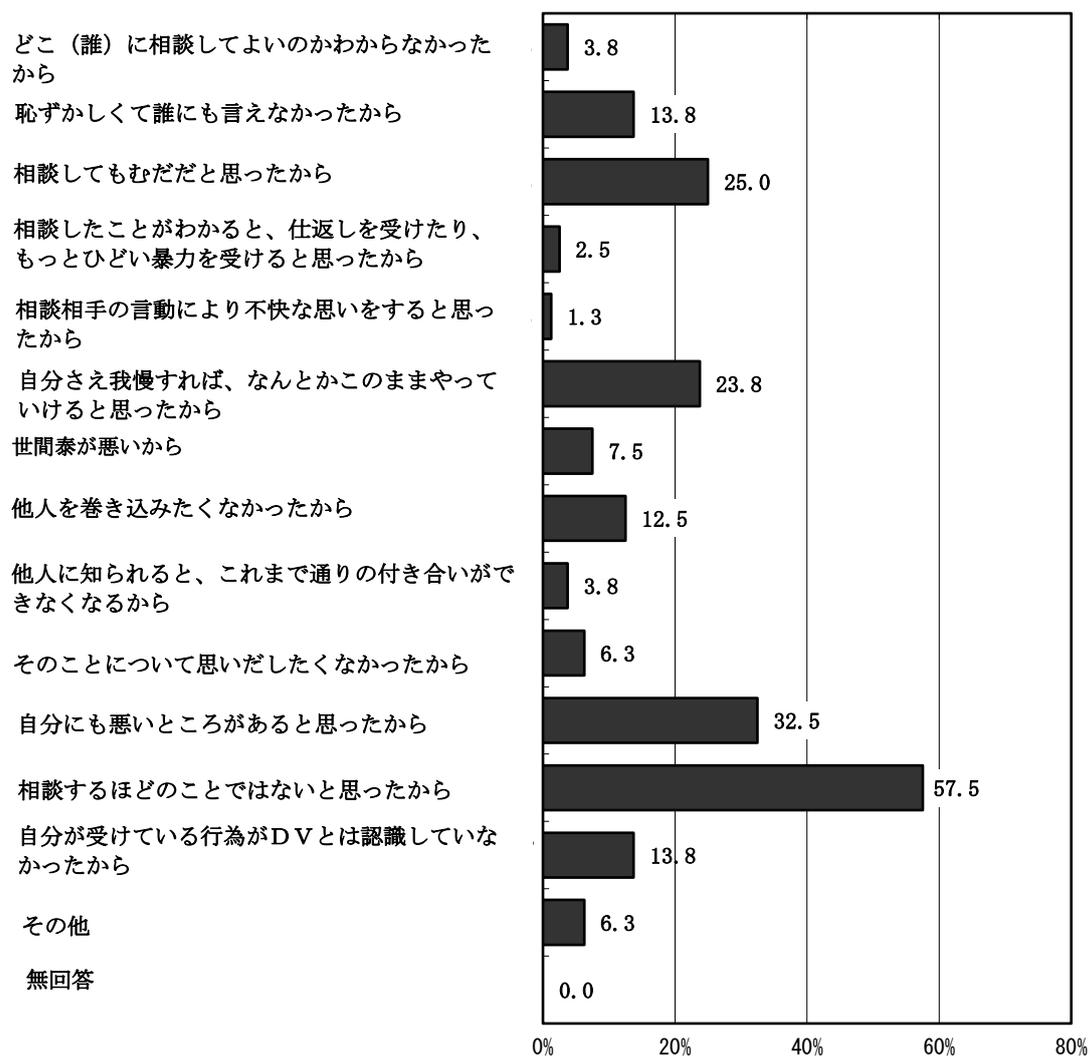
(MA) N=137



問16-2で「どこ（誰）にも相談しなかった」と回答した方を対象とした設問  
**問16-3 どこ（誰）にも相談しなかったのはなぜですか。（MA）**

「相談するほどのことではないと思ったから」が57.5%で最も高くなっています。次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」が32.5%、「相談してもむだだと思ったから」が25%で続いています。

(MA) N=80

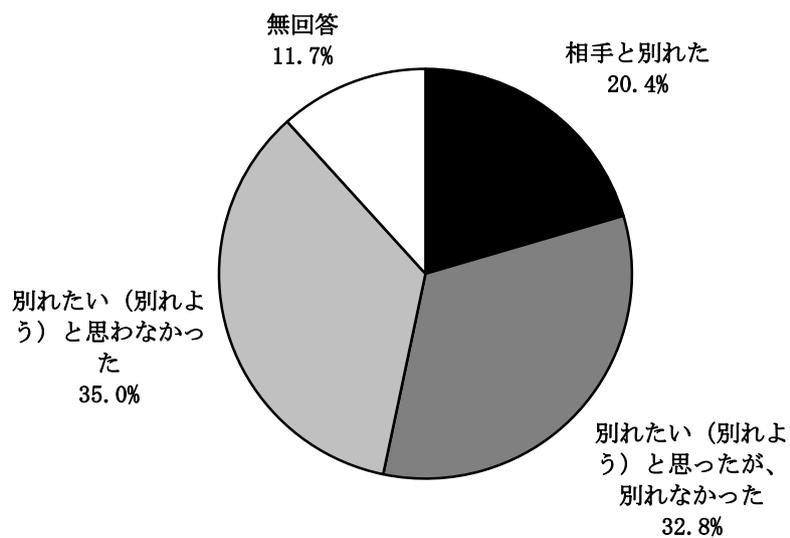


問16で「何度もある」または「1、2度ある」と回答した方を対象とした設問

**問16-4 そのような行為を受けたとき、どうしましたか。(SA)**

「別れたい(別れよう)と思わなかった」が35.0%で最も高く、次いで「別れたい(別れよう)と思ったが、別れなかった」が32.8%、「相手と別れた」が20.4%となっています。

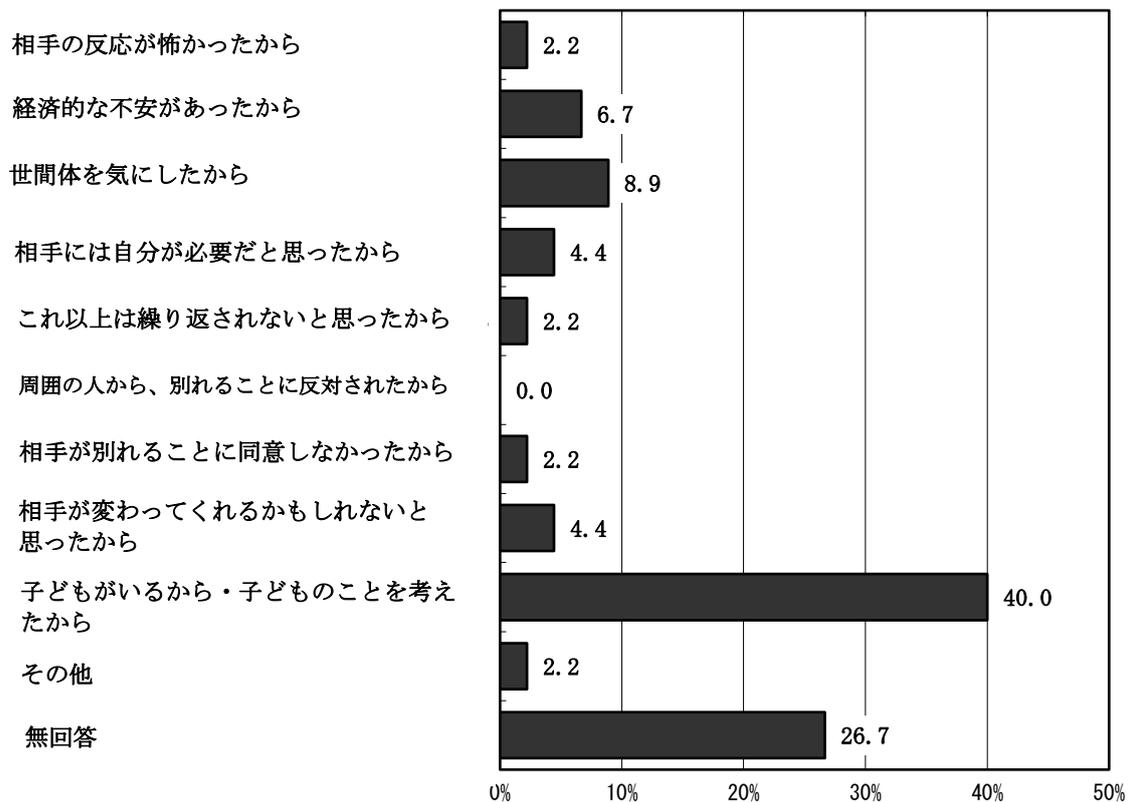
(SA) N=137



問16-4で「別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった」と回答した方を対象とした設問  
**問16-5 相手と別れなかった最も大きな理由は何ですか。（SA）**

「子どもがいるから・子どものことを考えたから」が40%で最も高くなっています。次いで「世間体を気にしたから」が8.9%、「経済的な不安があったから」が6.7%が続いています。

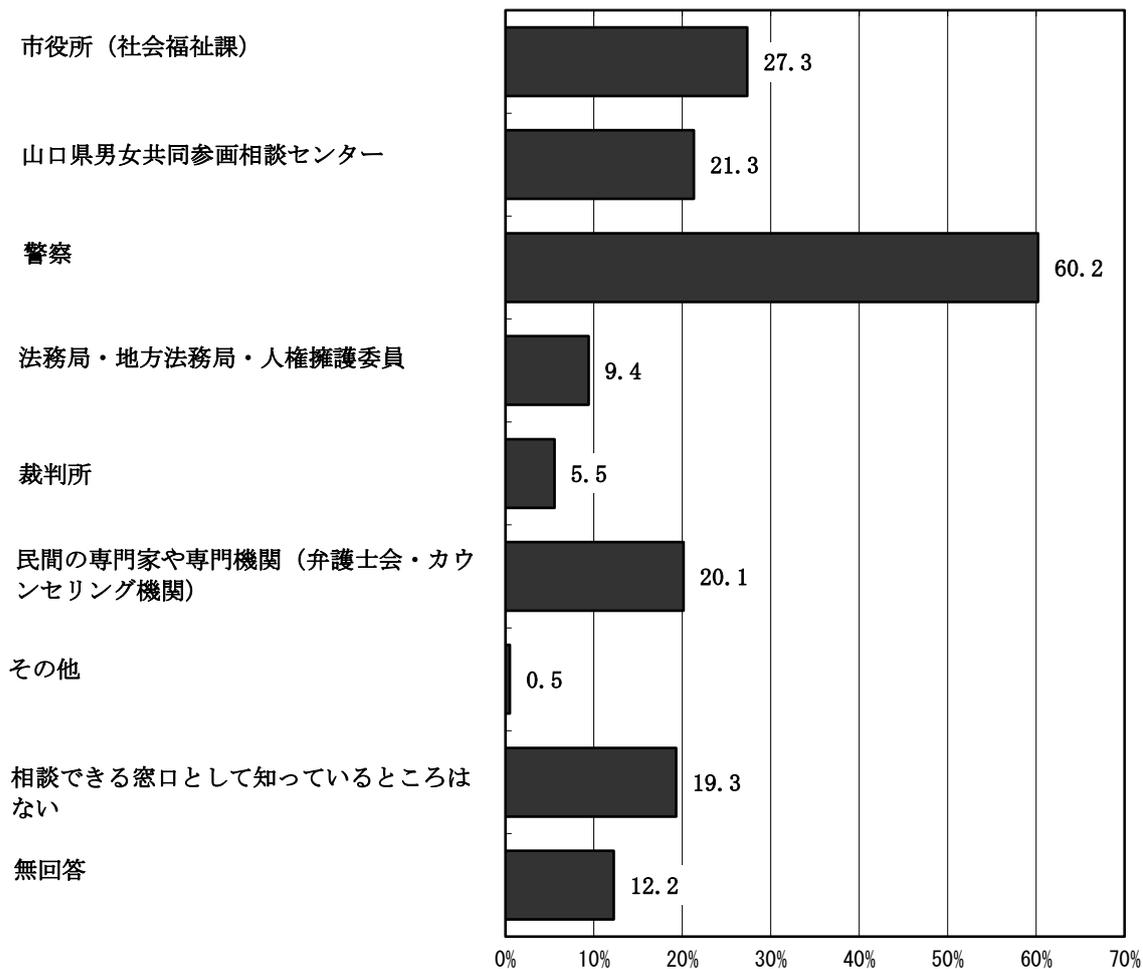
(SA) N=45



### 問17 配偶者等からの暴力について、相談できる窓口があることを知っていますか。(SA)

「警察」が60.2%で最も高くなっています。次いで「市役所（社会福祉課）」が27.3%、「山口県男女共同参画相談センター」が21.3%で続いています。

(SA) N=596

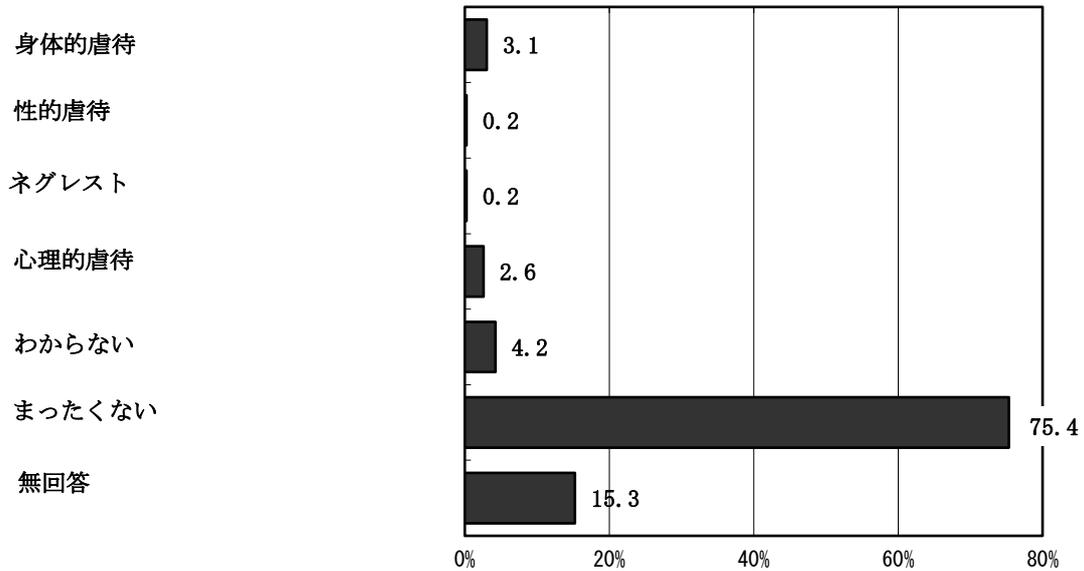


子どもがいる方を対象とした設問

問18 あなたの子どもは18歳になるまでの間に、配偶者から次のようなことをされたことがありますか。(MA)

「まったくない」が75.4%で最も高くなっています。次いで「わからない」が4.2%、「身体的虐待」が3.1%が続いています。

(MA) N=426

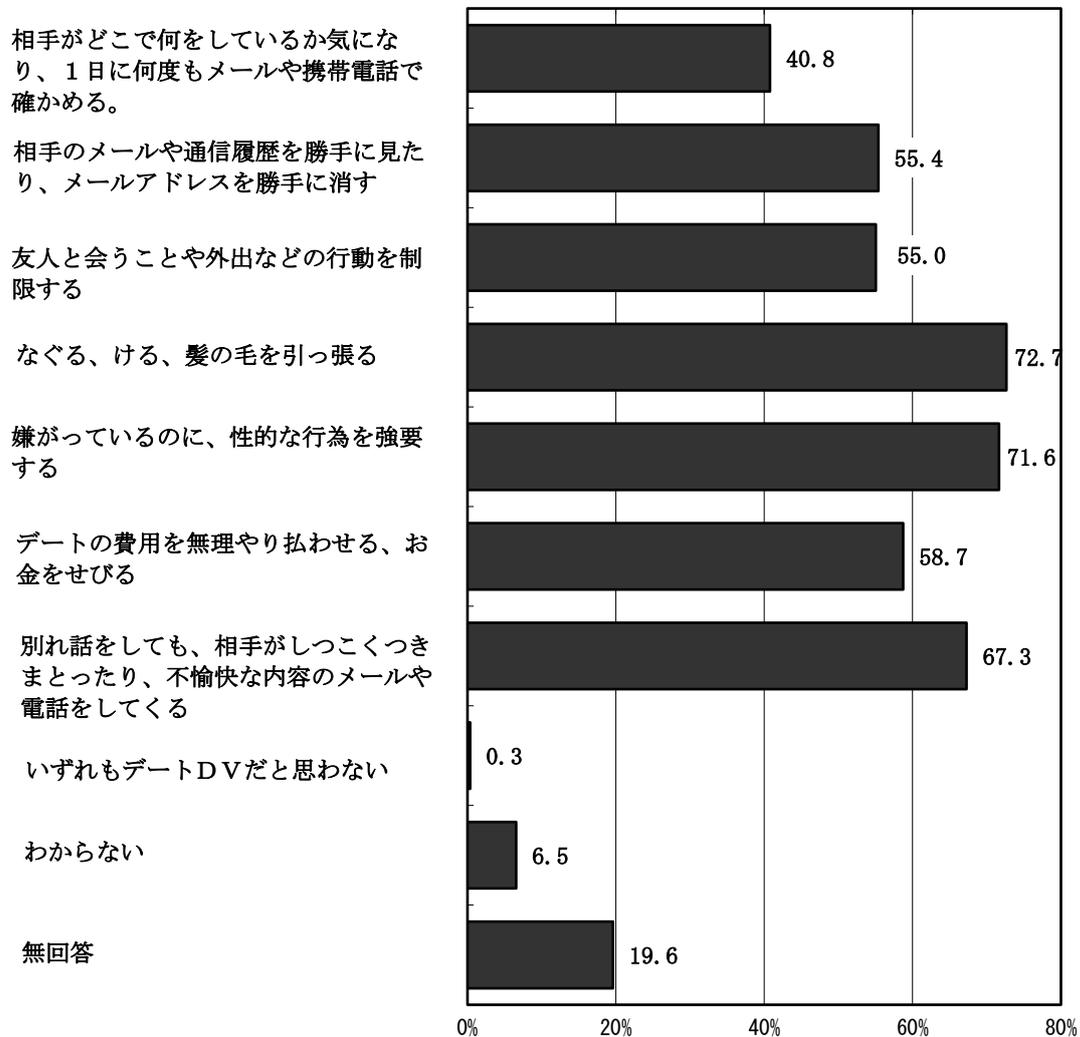


## 交際相手からの暴力について

**問19 最近、高校生や大学生等を含む若い世代で、交際相手からの暴力（デートDV）が問題になっていますが、次のようなことが交際中の男女間において行われた場合、それをデートDVだと思いますか。（MA）**

「なぐる、ける、髪の毛を引っ張る」が72.7%で最も高くなっています。次いで「嫌がっているのに、性的な行為を強要する」が71.6%、「別れ話をしても、相手がしつこくつきまったり、不愉快な内容のメールや電話をしてくる」が67.3%で続いています。

(MA) N=596

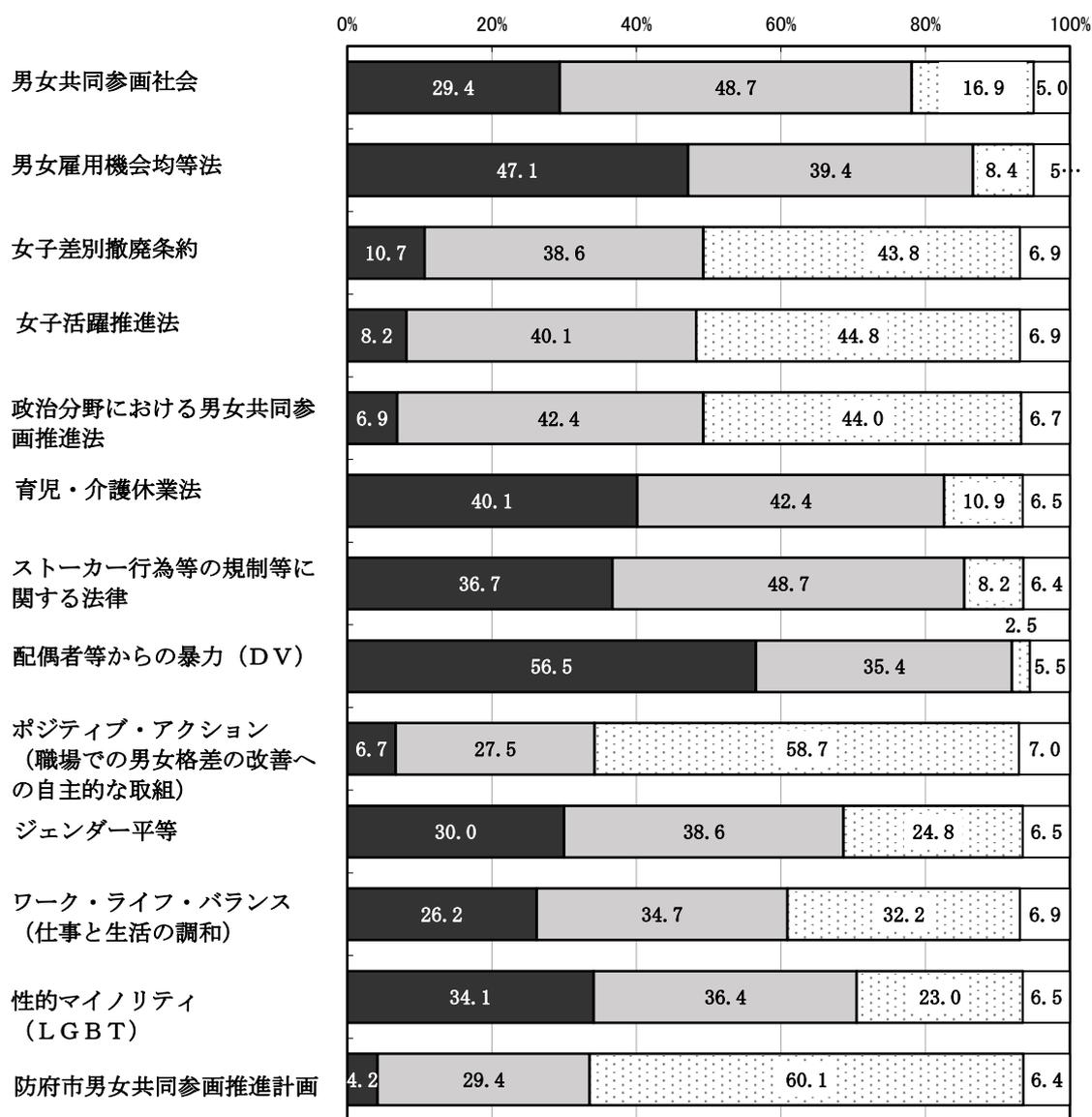


## 男女共同参画に関する用語について

### 問20 次の用語を知っていますか。(MA)

「聞いたことがあり内容まで知っている」では『配偶者等からの暴力(DV)』が56.5%で最も高くなっています。次いで『男女雇用機会均等法』が47.1%、『育児・介護休業法』が40.1%で続いています。

(MA) N=596



■聞いたことがあり内容まで知っている □聞いたことがあるが内容までは知らない □知らない □無回答

## 行政への要望について

問21 性別にかかわらず、一人ひとりが個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」を実現するために、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(MA)

「安心して働けるよう、保育のための施設やサービスを充実させること」が69.8%で最も高くなっています。次いで「学校教育の場で、男女平等や相互理解のための学習を充実すること」が55%、「職場における男女の均等な取り扱いについて企業に働きかけること」が53.7%で続いています。

(MA) N=596

学校教育の場で、男女平等や相互理解のための学習を充実すること

男女平等、相互理解・協力についての普及・啓発を進めること

職場における男女の均等な取り扱いについて企業に働きかけること

政策・方針決定過程へ女性を積極的に登用すること

女性の就労の機会が増えるよう、情報の提供や職業訓練の機会を提供すること

女性の学習の場を充実し、女性のリーダーを養成すること

女性の進出の少ない分野（科学技術、防災・災害復興、地域おこし、まちづくり、観光、環境等）への進出を促すための取り

安心して働けるよう、保育所、学童保育サービスを充実させること

高齢者や障害者のための施設や介護サービスを充実させること

男女の生き方に関する情報提供や交流、相談、教育などの場を整備すること

配偶者等からの暴力の根絶・防止に向けた取り組みを強化すること

その他

無回答

